

# autoCULT

Panhard X87 Dolomites (フランス, 1953)

過去のブランド

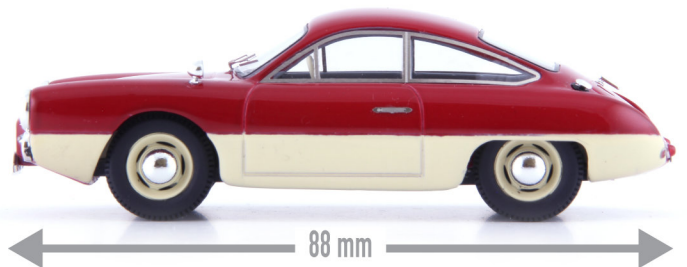
Scale 1/43

#02028

available

03/2022

Limited edition 333 Stk.



## 確かな技術でエレガントに

1950年代初頭、ベルンハルト・ピションとアンドレ・パラの2人は、フランスのカーチューニングの舞台に登場した。彼らの好みは、実績あるシャシーの技術をベースにした新しい車体の製作であった。1951年、パリモーターショーで彼らは、フォード・ヴェデットとルノー4CVをベースにしたモデルを自社ブースで発表した。特にフォードの下部構造をベースにしたチューニングカーは人気を博し、その後数年間で300人近くの人に購入された。フランスのサンズに工場を持つ2人は、車体のデザインで非常に幸運な腕前を持っていることを証明した。ピションとパラは、適当な車体を探すうちに、パナール・ダイナのシャシーにたどり着いた。小型ながらパワフルなボクサー・エンジンに加え、1950年からル・マン24時間耐久レースで達成されていた効率性という分野での成功を受け、ボディ・メーカー、特にモータースポーツに強い関心を持っていたベルンハルト・ピションが興味を持つことになったのだら

う。

パナール・ダイナを小型で軽快なスポーツカーにするというアイデアは非常に魅力的で、彼らはそのアイデアを実行に移し、1953年10月のパリモーターショーで「パナール X86 ドロミテ」という名称で初めて発表したのである。

しかし、当初の需要は減っていき、ドロミテはごくわずかしかな生産されなくなった。しかし、その後数年間は生産が完全に停止することはなかったが、1955年11月にわずか1台だけが生産され、総生産台数も15台にとどまったことから、このモデルはスポーツカーシーンの期待に応えたとはいえ難かったといえる。

**AutoCult GmbH**  
Äußere Further Straße 3  
90530 Wendelstein  
Germany

電話番号 +49 / 9129 / 296 4280  
ファックス +49 / 9129 / 296 4281  
info@autocult.de

[www.autocult-models.de](http://www.autocult-models.de)